

第10回教育研究評議会議事要録

- 1 日 時 平成31年2月13日（水）13時10分～13時47分
- 2 場 所 特別会議室（本部棟3階）
- 3 出席者 山下議長，大石評議員，佐古評議員，安部評議員，田中（弘）評議員，秋田評議員，前田（洋）評議員，原評議員，菊地評議員，木原評議員，田村（隆）評議員，太田評議員，本田評議員，小川評議員
- 欠席者 小坂評議員
- 陪席者 近藤監事，井関監事

4 議 題

（1）平成31年度教員定員管理について

大石評議員から，資料1-1「平成31年度教員定員管理（案）」，資料1-2「教員配置に関する基本方針の改正部分の対照表」及び資料1-3「学長戦略による教員配置に関する基本的な考え方の改正部分の対照表」に基づき，平成31年度大学院改組に対応した新たな教員定員計画（案）及びこれに伴う申合せの一部改正等について説明があり，審議の結果，これを承認した。

なお，これにより，資料1-4「教員の定員・ポストの弾力的運用について」及び資料1-5「教授昇任人事の特例措置について」については，廃止することとした。

（2）国立大学法人鳴門教育大学教育研究評議会規則の一部改正について

山下議長から，資料2「国立大学法人鳴門教育大学教育研究評議会規則の改正部分の対照表」に基づき，教育研究組織の見直しに伴う教育研究評議会規則の改正について説明があり，審議の結果，これを承認した。

（3）徳島県立鳴門高等学校との高大連携に関する協定書の締結について

大石評議員から，資料3-1「鳴門教育大学と鳴門高校との連携について（案）」及び資料3-2「国立大学法人鳴門教育大学と徳島県立鳴門高等学校との高大連携に関する協定書（案）」に基づき，鳴門高校との間で高大連携を推進し，双方の教育・研究の充実，学生・生徒の資質向上を図ることを目的とした「高大連携に関する協定書」を締結する旨説明があり，審議の結果，これを承認した。

なお，協定書（案）については，高等学校の上部組織である徳島県教育委員会教育長が連名となる可能性があり，その場合の表記については学長一任とすることで承認した。

（4）その他

特になし。

5 報告事項

(1) 平成31年度各種委員会委員等の推薦について

山下議長から、資料4-1「教育研究組織の見直しに伴う学内委員会の見直しについて」、資料4-2「平成31年度学内各種委員会委員等の推薦について」及び資料4-3「平成31年度学内各種委員会委員等名簿」に基づき、教員・教育組織の見直しに伴い整理統合する旨説明の後、平成31年度の各種委員会委員等の推薦について、3月15日を推薦期限とし、専攻長あて依頼する旨報告があった。

なお、委員からの質疑により、大石評議員から以下の応答が行われた。

委員質疑：「大学院学校教育研究科教務委員会委員のうち、子ども発達支援コースからは、2名の選出が必要とされているが、これは何故か。」

大石評議員応答：「大学院学校教育研究科教務委員会委員は、実習との関連が深いことから、それぞれの委員が実習のコーディネーターを兼ねることとなる。従って、子ども発達支援コースは、特別支援教育分野とそれ以外の分野から成るため、各分野から1人を選出いただきたい。」

これにより、子ども発達支援コースでは、コースに持ち帰り検討し、後日、教務企画課まで報告することとなった。

(2) その他

特になし。

次回の教育研究評議会は、3月13日（水）の13時10分から開催予定。